

大和都市計画道路の変更(生駒市決定)

都市計画道路3・5・213号真弓芝線を次のように変更する。

種別	名称		位置			区域	構造				備考
	番号	路線名	起点	終点	主な経過地	延長	構造形式	車線の数	幅員	地表式の区間における鉄道等との交差の構造	
幹線街路	3・5・213	真弓芝線 <small>まゆみしばせん</small>	生駒市 真弓2丁目 <small>いごまし まゆみ2ちょうめ</small>	生駒市 北大和4丁目 <small>いごまし きたやまと4ちょうめ</small>	生駒市 北大和1丁目 <small>いごまし きたやまと1ちょうめ</small>	約 870m	地表式	2車線	15m	幹線街路と平面交差3ヶ所	終点変更 一部路線変更

「区域及び構造は計画図表示のとおり」

理由

別添理由書のとおり

都市計画道路 真弓芝線の変更理由書

1. 関西文化学術研究都市「学研高山地区」及び「学研北生駒駅北地区」の概要

学研高山地区第2工区(約288ha)は、人口計画2万3千人の住宅開発を行うものとして、平成12年に土地区画整理事業の都市計画決定、平成14年に都市計画道路の都市計画決定を行いました。社会経済情勢等により長らく事業化には至っていない。

その後、令和3年6月に策定した生駒市都市計画マスタープランにおいて、学研高山地区を産業・学術研究拠点として位置付け、従来の住機能中心の土地利用から、基礎研究から研究開発、生産に至る各産業施設の立地など、イノベーション創出の基盤となる都市の多様性と機能連携を高める「多機能複合市街地」としての土地利用へ転換する方針とし、以降、工区を分割した段階的な土地区画整理事業によるまちづくりに向け、事業推進しているところである。

学研北生駒駅北地区(約6.5ha)は、本市北部地域の地域拠点として、また、学研高山地区の玄関口として、地域の顔となり身近な生活や交流を支援する機能が集約された拠点形成を図る旨、本市都市計画マスタープランに位置付けている地区であり、組合施行による土地区画整理事業が予定されている。

2. 路線の概要

(都)真弓芝線は、(都)奈良阪南田原線を起点とし、(都)国道163号バイパス線を終点とする都市幹線道路として、平成17年3月に都市計画決定されたものである。

2. 都市計画道路変更の内容

(1)変更の理由

(都)上町芝線の都市計画変更に伴い本都市計画道路と(都)上町芝線の交差点において安全で円滑な交通流動を確保するため。また、近隣の既存住宅地からの利用が多い(都)真弓芝線への交通量負荷低減のため。

(2)変更の内容

終点を(都)国道163号バイパス線から(都)上町芝線に変更